



Q 気象庁の3カ月予報では、今年夏の平均気温は高い

A 熱中症は屋内・屋外に関わらず高温や多湿の環境下によって、体温調節や

見込みと予想されています。屋外で仕事をしていますが、熱中症予防のため何に注意すればいいでしょうか。

熱中症を予防するには

循環機能などの働きに異常をきたして起こるものです。

全国では毎年400～500人が仕事に熱中症と診断され、10人以上が亡くなっています。

厚生労働省では、職場の熱中症予防対策をより一層進めるため、今年5～9月を実施期間とする「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を新たに始めました。

①気温②湿度③放射熱―など周辺の熱環境から「暑さ指数(WBGT値)」を把握し、①作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を設ける②暑さ指数(WBGT値)に応じて休憩時間を確保したり、連続作業時間を短縮する③作業の前後や作業中に水・塩分を十分取る。透湿性や通気性の良い服装・帽子(クールヘルメット)を着用する―などをお願いしています。

特に屋外での仕事は熱中症にかかりやすくなるので、健康状態を確認し、熱中症が疑われる場合には、早期の処置を行うことが重要です。

鳥取労働局労働基準部健康安全課 電話 0857-29-1704